

戦争の悲惨さ、そして平和の尊さを考えていただくため、8月7日（木曜日）から12日（火曜日）までカルスタすぎとにおいて、「平成26年度 杉戸町平和企画展」を開催しました。今年は太平洋戦争と予科練の若者たちに焦点を当て、『青春の軌跡 ～予科練の若者たちが守りたかったもの～』と題して展示を行いました。

また、10日（日曜日）には、元予科練習生の戸張礼記さんによる戦争体験の講演が行われ、当時の厳しい訓練の様子や、死と向き合いながら短い生涯を懸命に生きた特攻隊員の話に、来場した多くの方が涙を流していました。終戦から69年を迎える今、戦争の直接経験者が私たちへと投げかけるメッセージ。それぞれが「平和とは何か」について考える1日となりました。

期間 8月7日（木）～12日（火）

時間 9時～21時30分

会場 カルスタすぎと オープンギャラリー ※11日（月）は休館日

杉戸町大字大島 477-8 電話：0480-31-2111

内容 予科練に関する資料、写真等のパネル展示

入場料 無料

#### 基調講演「みんなに語り継ぐ 知られざる予科練」

1. 日時 8月10日（日） 14時～15時（開場／13時30分）

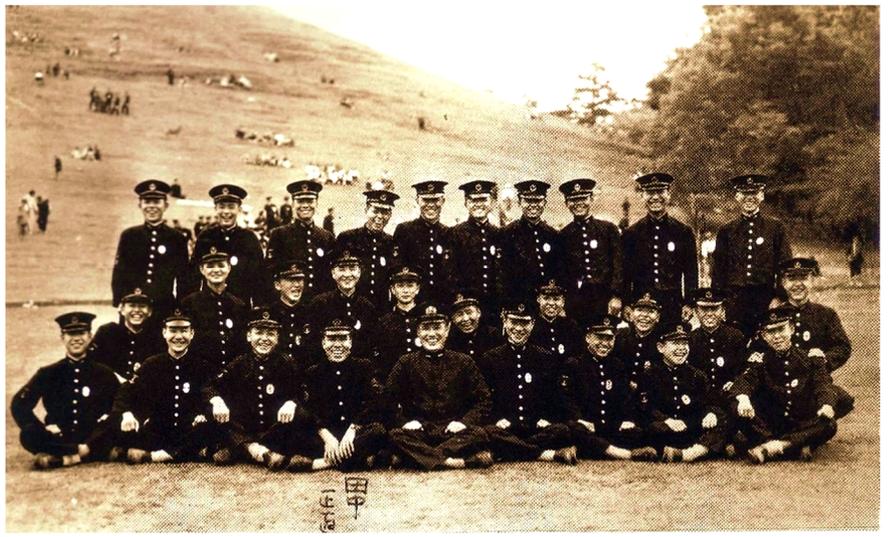
2. 会場 カルスタすぎと 多目的ホール

3. 内容 元予科練習生（甲種第14期）戸（と）張（はり）礼（れい）記（き）氏による戦争体験

4. 入場料 無料







## 杉戸町平和企画展

8月7日(木)～12日(火)

9時～21時30分

# 青春の軌跡

予科練の若者たちが守りたかったもの

優秀な飛行機搭乗員を育成するため、旧日本海軍が昭和5年に開始した教育制度「予科練」。選抜試験を突破したおおよそ14才から17才までの少年たちが全国から集まり、日々厳しい訓練に励みました。そして太平洋戦争の戦局が厳しくなると、彼らの多くが特別攻撃隊員となり、尊い命を落としたのです。

若い彼らが、命に代えても守りたかったものは何なのか。波間に散った青春の軌跡をたどりながら、今を生きる私たちに託された思いを考えます。

### 基調講演

「みんなに語り継ぐ 知られざる予科練」

日時 8月10日(日)

14時～15時(開場/13時30分)

場所 カルスタスと多目的ホール

内容 元予科練習生(甲種第14期)戸張礼記さんによる戦争体験

入場料 無料(事前申込不要・先着順)

### 主催・問合せ

杉戸町 住民参加推進課

☎0480・33・1111(代)

僕はもう、お母さんの顔を見られなくなるかも知れない。お母さん、良く顔を見せて下さい。しかし僕は何んにもカタミを残したくないんです。十年も二十年も過ぎてからカタミを見てお母さんを泣かせるからです。お母さん、僕が郡山を去る日、自分の家の上空を飛びます。それが僕の別れのあいさつです。

乙種第18期予科練習生 神風特別攻撃隊第五神剣隊  
茂木三郎さんの母へのごとは  
(昭和20年5月4日 沖縄泊地で戦死 享年19歳)



写真提供/予科練平和記念館(茨城県稲敷郡阿見町)

カルスタスとオープンギャラリー

※11日(月)は休館日

所在地/杉戸町大字大島477番地8

内容 制服や遺品、写真、パネルなど、予科練に関する資料を展示します。

入場料 無料

協力 阿見町教育委員会、予科練平和記念館

平成 26 年度 杉戸町平和企画展

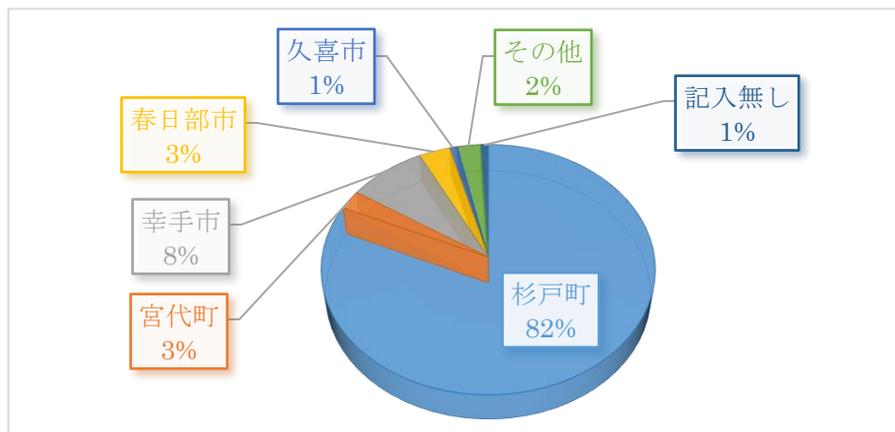
「青春の軌跡 ～予科練の若者たちが守りたかったもの～」

## アンケート集計結果報告書

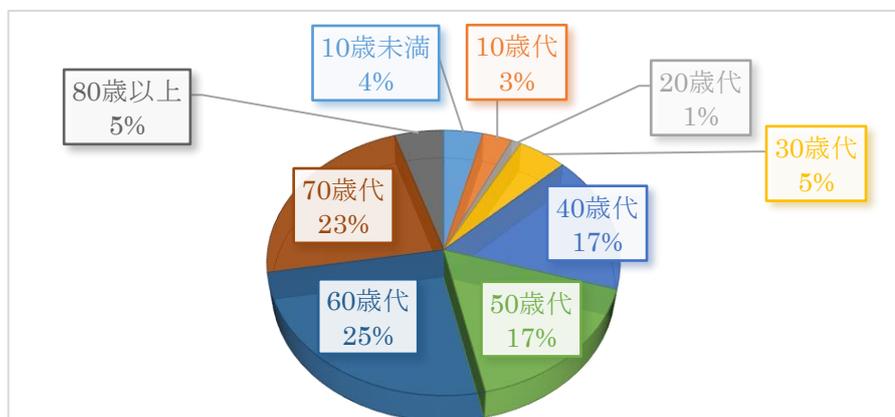
### ・ アンケート回収数

回収日	回収数
8月7日(木)	24
8日(金)	7
9日(土)	19
10日(日)	17
10日(日) ※講演様式	41
12日(火)	13
合計	121

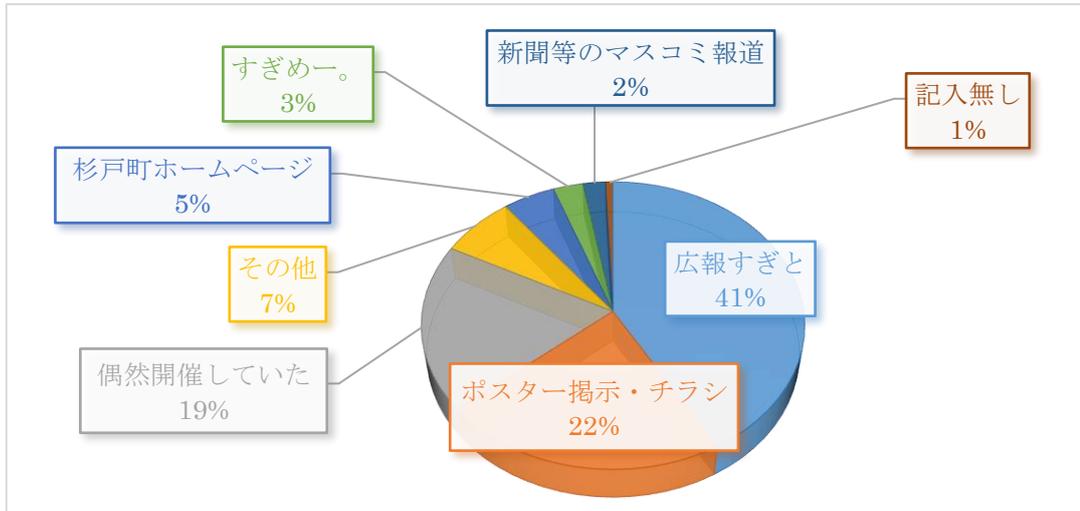
### 1. お住まいの市区町村はどちらですか？



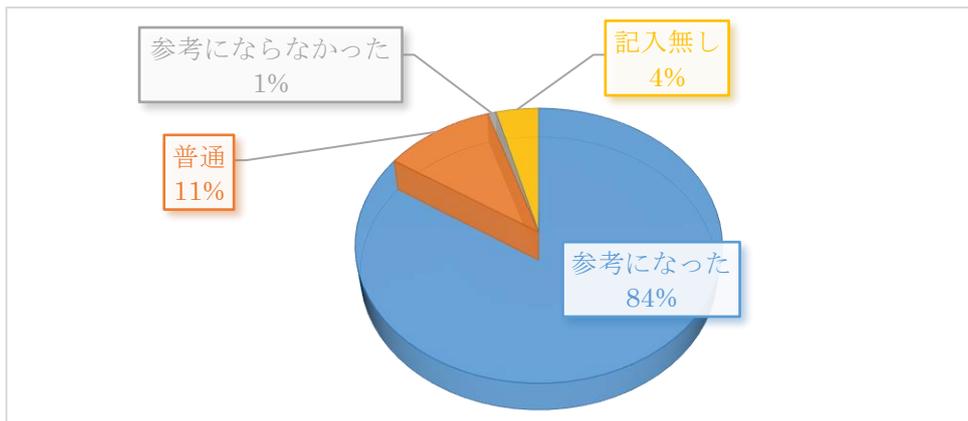
### 2. あなたの年齢(年代)は？



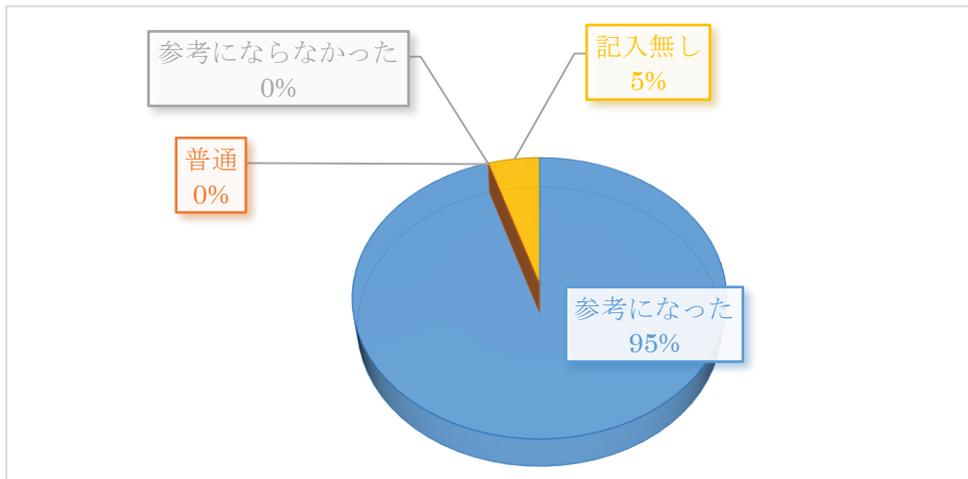
3. 企画展の開催を知ったきっかけは？【複数回答可】



4. 企画・展示の内容はいかがでしたか？



5. 講演の内容はいかがでしたか？



## 6. その他、今回の企画展に対する感想・意見等（要約）

- ・ 今年で83歳になります。終戦当時、私は女学校2年生（12歳）で、ただただお国のために頑張ってきました。終戦後に大東亜戦争（太平洋戦争）の実態を知り、悲しみでいっぱいです。予科練平和記念館を見学した小学生の感想に、「昔の人たちの犠牲があったから今の平和がある…」という言葉がありました。私は、国民全体がこのような気持ちであってほしいと常に願っています。
- ・ 戦争は無益なもの。戦争のない平和な世界を！
- ・ 予科練のことを初めて知りました。学校で戦争についての多くを学ばず、何も知らないまま大人になってしまう「日本の歴史教育」に疑問を感じました。
- ・ 今回の企画展を見て、予科練平和記念館（茨城県阿見町）へ行ってみたいと思いました。
- ・ 若者たちが特攻隊員として、親よりも早く命を落とすことは、あまりにも残酷です。人間の世で、このようなことがあってはならないと、改めて感じました。
- ・ 家族や愛する人を守るため、死んでいった若者たち。それらの犠牲の上に、今の平和な日本が成り立っているのだと痛感しました。
- ・ 亡くなった祖父の話を思い出しました。今の生活がいかにありがたいものなのかを、改めて感じました。
- ・ 風化させてはならない。戦争体験者が減っていく中で、語り継ぐことの大切さを感じています。
- ・ 「杉戸町平和企画展」は、小さな町で予算も無いのに、毎年頑張っているとと思います。今年もぐっと胸に来る、質の高いものでした。
- ・ このような企画展を、今後も続けてほしいです。
- ・ 小・中学校への広報が足りないのでは。もっと若い世代に見てほしい。
- ・ 戸張さんには長生きをしてもらい、戦争の悲惨さ、そして命の尊さを多くの人に語り続けてほしい。
- ・ 杉戸も空爆によって、死傷者が出ていたことを知ってほしい。
- ・ 戦没画学生慰霊美術館「無言館」（長野県上田市）も紹介してほしい。